

山梨学院大学 教職課程 履修カルテ（24年度入学生）

学科	経営学科	学籍番号		記入 年 月	2年時	
氏名					3年時	
出身高校		所属部			4年時	

このカルテは、教員を目指す皆さんが教職課程における自らの学習の軌跡を振り返るためのものです。このカルテを通して、教員になる上でのあなたの自己課題を見出してください。

【履修カルテの作成要領】

- ・単位修得できた科目だけ記入すること（不合格だった科目は記入しない）。
- ・入力作業が完了したら、プリントアウト（片面印刷）したものを、所定のファイルに綴じて（左綴じ）提出する。
- ・一度作成したカルテの電子ファイルは、各自が自分のフォルダーなどに適当なファイル名を付けて保存し、自己責任で管理すること。カルテは累加記録なので、一度作成したファイルは卒業時まで必要になります。

1. 教職関連科目の履修状況

A. 基礎資格充足のための科目

(○印は教職必修科目)

区分	授業科目名	単位	配当年次	修得学年	担当教員名	評価	備考
日本国憲法	○ 日本国憲法	2	1年				
体 育	△ スポーツ実践(バスケットボール)	1	1年				2科目2単位以上を 選択必修
	△ スポーツ実践(バレーボール)	1	1年				
	△ スポーツ実践(バドミントン)	1	1年				
	△ スポーツ実践(柔道)	1	1年				
	△ スポーツ実践(軽スポーツⅠ)	1	1年				
	△ スポーツ実践(軽スポーツⅡ)	1	1年				
	△ スポーツ実践(トレーニング実践)	1	1年				
外国語コミュニケーション	△ 総合英語Ⅰ	2	1年				2科目4単位以上を 選択必修
	△ 総合英語Ⅱ	2	1年				
	△ コミュニカティブ基礎英語A	2	1年				
	△ コミュニカティブ基礎英語B	2	1年				
	△ コミュニカティブ初級英語A	2	1年				
	△ コミュニカティブ初級英語B	2	1年				

履修カルテ【経営学科】

		△ コミュニカティブ中級英語A	2	1年				
		△ コミュニカティブ中級英語B	2	1年				
数理、データ活用及び人工知能に関する科目 又は 情報機器の操作	数理、データ活用及び人工知能に関する科目							
	情報機器の操作	△ ICTリテラシーA	2	1年				1科目2単位以上を選択修得
		△ ICTリテラシーB	2	1年				

B. 教科及び教職に関する科目

(○印は教職必修科目)

第一欄	科目	授業科目名	単位	配当年次	修得学年	担当教員名	評価	備考
第二欄	教科及び教科の指導法に関する科目	(C欄)						
第三欄	教育の基礎的理解に関する科目	○学校と教育の歴史	2	3年				
		○教職概論	2	2年				
		○教育社会学(中・高)	2	2年				
		○教育心理学(中・高)	2	2年				
		○特別支援教育概論	1	2年				
		○教育課程論	2	2年				
第四欄	道徳、総合的な学習の時間等の指導法及び生徒指導、教育相談等に関する科目	○道徳教育指導論(中)	2	3年				中一種のみ必修
		○総合的な学習・探究の時間の指導法	1	3年				
		○特別活動論	2	2年				
		○教育方法論(中・高)	2	2年				
		○教育におけるICT活用	1	2年				
		○生徒指導・教育相談	2	2年				
		○進路指導論	2	2年				
第五欄	教育実践に関する科目	○教育実習研修	2	4年				
		○教育実習Ⅰ	2	4年				
		○教育実習Ⅱ	1	4年				中一種のみ必修
		○教職実践演習(中・高)	2	4年				
第六欄	大学が独自に設定する科目	○介護等体験実習(事前事後指導を含む)	2	3年				中一種のみ必修
中学校教諭一種免許状：合計59単位以上 高等学校教諭一種免許状：合計59単位以上			中学校教諭一種免許状(社会)：合計63単位以上 高等学校教諭一種免許状(商業)：合計62単位以上					

(注) 第六欄「大学が独自に設定する科目」の必要単位数は、当該欄中の配置科目による修得単位数のほか、第二欄から第五欄までの法令が定める最低修得単位数を超えて修得した単位数の合計がこれに充当されるものであり、本学では第二欄から第五欄までに定める各欄の要件単位数を満たすことにより充足される。

C. 教科及び教科の指導法に関する科目

①「社会科」(中学校教諭一種)

(○印は教職必修科目)

各科目に含める必要事項	授業科目名	単位	配当年次	修得学年	担当教員名	評価	備考
教科に関する専門的事項	日本史・外国史	○日本史Ⅰ	2	1年			
		日本史Ⅱ	2	1年			
		○世界史	2	1年			
	地理学(地誌を含む。)	○地理学Ⅰ	2	1年			
		地理学Ⅱ	2	1年			
		○地誌学	2	1年			
	「法学、政治学」	○法学概論	2	1年			
		○政治学概論Ⅰ	2	1年			
		政治学概論Ⅱ	2	1年			
		国際法Ⅰ	2	1年			
		国際法Ⅱ	2	1年			
		国際政治Ⅰ	2	1年			
		国際政治Ⅱ	2	1年			
		国際関係論(概論)Ⅰ	2	1年			
	国際関係論(概論)Ⅱ	2	1年				
	「社会学、経済学」	○社会学Ⅰ	2	1年			
		社会学Ⅱ	2	1年			
		○経済学概論	2	1年			
		公共経済学	2	1年			
		国際貿易	2	1年			
		国際金融	2	1年			
	「哲学、倫理学、宗教学」	○哲学Ⅰ	2	1年			
		哲学Ⅱ	2	1年			
		○倫理学Ⅰ	2	1年			
		倫理学Ⅱ	2	1年			
		○宗教と人間Ⅰ	2	1年			
		宗教と人間Ⅱ	2	1年			
	各教科の指導法(情報機器及び教材の活用を含む。)	○社会科教育法	4	1年			
○社会科・公民科教育法		4	1年				
合計28単位以上			←修得した単位数の合計を計算して入力する(合計32単位以上が必要)				

②「商業科」(高等学校教諭一種)

(○印は教職必修科目)

各科目に含める必要事項	授業科目名	単位	配当年次	修得学年	担当教員名	評価	備考
教科に関する専門的事項	○経営学概論	2	1年				
	○マーケティング概論	2	1年				
	○簿記概論	2	1年				
	○会計学概論	2	1年				
	○経済学概論	2	1年				
	現代社会とビジネス	2	1年				
	ビジネスゲーム	2	1年				
	工業簿記	2	1年				
	商業簿記	2	1年				
	経営戦略論	2	2年				
	経営管理論	2	2年				
	経営組織論	2	2年				
	アントレプレナーシップ	2	2年				
	eビジネス論	2	2年				
	投資と資産形成	2	2年				
	国際経営	2	2年				
	技術経営	2	2年				
	ファイナンス	2	2年				
	ビジネスエコノミクス	2	2年				
	流通論	2	2年				
	プロモーション戦略論	2	2年				
	消費者行動論	2	2年				
	財務会計論	2	2年				
	管理会計論	2	2年				
	ミクロ経済学	2	2年				
	マクロ経済学	2	2年				
	金融論	2	2年				
	人的資源管理	2	3年				
	イノベーション・マネジメント	2	3年				
	経営倫理	2	3年				
	オペレーション管理	2	3年				
	情報セキュリティー	2	3年				
	ツーリズムマネジメント	2	3年				
ものづくり経営	2	3年					
農業経営	2	3年					
リテールマーケティング	2	3年					
ブランドマネジメント	2	3年					
サービスマーケティング	2	3年					

(○印は教職必修科目)

履修カルテ【経営学科】

商業の関係科目 (つづき)	国際マーケティング	2	3年				
	税務会計論	2	3年				
	公共経済学	2	3年				
	財政政策と金融政策	2	3年				
	国際貿易	2	3年				
	国際金融	2	3年				
	コンピューター基礎理論	2	1年				
	ソフトウェア開発論	2	2年				
	データ分析	2	2年				
	産業と職業の研究	2	1年				
	企業法A	2	2年				
	ワークルール論：働くための基礎知識	2	1年				
職業指導	○進路・職業指導	4	4年				
各教科の指導法（情報機器及び教材の活用を含む。）	○商業科教育法	4	3年				
合計24単位以上				←修得した単位数の合計を計算して入力する(合計36単位以上が必要)			

2. その他の関連事項

(1) 介護等の体験の状況（中学校教諭一種）

区分	体験場所等	体験期間	実施学年	概要
特別支援学校 (2日間)		自		
		至		
社会福祉施設 (5日間)		自		
		至		
		自		
		至		

(2) ボランティア活動の記録等

区分	体験場所等	体験期間	実施学年	概要
ボランティア活動の 記録		自		
		至		
		自		
		至		
		自		
		至		
		自		
		至		
		自		
		至		
		自		
		至		

(3) 特記事項

特記事項	記載教員名	授業科目名等	記載年月日

2. 自己評価シート

必要な資質能力の指標		自己評価		
項目	指標	2年時	3年時	4年時
教育に対する熱意・使命感・責任感・教育的愛情	教育に対する熱意や使命感を高める努力をしている。			
	教育の重要性と社会的責任を深く認識している。			
	いじめ、不登校、特別支援教育等の学校教育に関する新たな課題に関心を持ち、自分なりの意見を持つことができる。			
教科の指導力・教育実践	取得する免許に関する専門的知識を十分に有している。			
	道徳教育・特別活動・総合的な学習の時間の指導法や内容に関する基礎理論・知識を習得している。			
	教材を分析し、生徒の反応を想定した学習指導案が作成できる。			
	板書や発問、的確な話し方など、授業を行う上で必要な基本的な表現技能を身に付けている。			
	学級経営を進める上での留意点について理解している。			
	ICTを活用した授業に関する基礎理論や知識、指導法を理解している。			
生徒に対する愛情・理解	生徒を一人の人間として尊敬し、共に成長する存在となることを目指している。			
	子どもの各発達段階における主な特徴を理解している。			
社会性・対人関係能力	他者の意見やアドバイスに素直に耳を傾け、理解や協力を得ながら課題に取り組むことができる。			
	保護者や地域との連携・協力の重要性を理解している。			
	挨拶、言葉遣い、服装、他の人への接し方など社会人としての基本的なマナーを身に付けている。			
自己課題設定	自己の課題を認識し、その解決に向けて、学び続けようとしている。			